EU Indicators

発表日:2019 年8月 22 日(木)

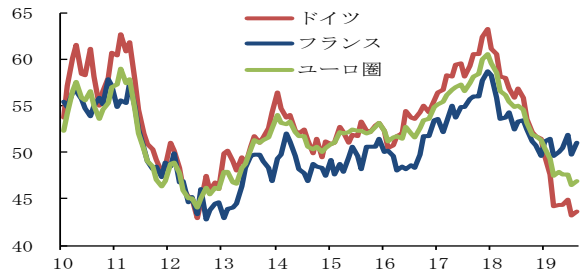
欧州経済指標コメント:８月ユーロ圏PMI速報

～ヘッドラインは改善も、内需関連への一段の波及を確認～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理(TEL:03-5221-4527)

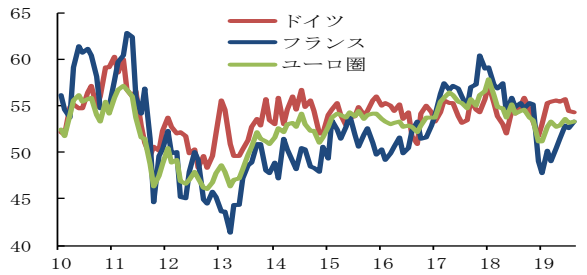
- 前月に改善モメンタムが鈍化したユーロ圏の総合ＰＭＩは小幅改善し、一段の落ち込みを回避。内訳は、製造業ＰＭＩが７ヶ月連続で好不況の分岐点である50割れを記録したが、前月から悪化モメンタムはやや緩和。前月に低下したサービス業活動指数（サービス業ＰＭＩ）も小幅改善し、底堅い水準を維持。国別・業種別の内訳をみると、ドイツのサービス業が２ヶ月連続で低下した一方、前月に低下したドイツの製造業、フランスの製造業とサービス業が揃って改善した。
- 発表元のIHS Markitによれば、同指数の水準が示唆する7-9月期の実質ＧＤＰ成長率は、ユーロ圏で前期比＋0.1～0.2%程度、ドイツが小幅マイナス成長（２四半期連続＝テクニカル・リセッション）、フランスは具体的な水準の言及はないが、他国と比べて堅調さを維持。
- ユーロ圏の製造業ＰＭＩを構成する生産、新規受注、雇用、中間財在庫、入荷遅延（逆数）の５項目が揃って改善。製造業の雇用判断は、３月以降に50割れが続くドイツが前月から一段と悪化した一方、前月50割れとなったフランスが50超に復帰し、ユーロ圏全体の計数を押し上げた。
- ユーロ圏のサービス業関連の調査項目では、総合ＰＭＩの作成に用いられる活動指数こそ小幅改善したが、新規受注、雇用、受注残が揃って前月に続いて低下した。サービス業の雇用判断は50超を維持しているが、ドイツが４ヶ月連続、フランスが５ヶ月振りに改善モメンタムが鈍化した。
- ヘッドライン計数や製造業の構成項目は前月の落ち込みから回復し、落ち込みが一服した形だが、サービス業の受注判断や雇用判断が一段と低下しており、製造業部門の落ち込みがサービス業や雇用環境に波及し始めていることが示唆される。

■ユーロ圏：製造業ＰＭＩ



出所：IHS Markit

■ユーロ圏：サービス業ＰＭＩ



出所：IHS Markit

■購買担当者指数（ＰＭＩ、季節調整済み）

		2018 3Q	4Q	2019 1Q	2Q	2018 11月	12月	2019 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
ユーロ圏	総合産出指数	54.3	52.3	51.5	51.8	52.7	51.1	51.0	51.9	51.6	51.5	51.8	52.2	51.5	51.8
	製造業購買担当者指数	54.3	51.7	49.1	47.7	51.8	51.4	50.5	49.3	47.5	47.9	47.7	47.6	46.5	47.0
	サービス業業況指数	54.4	52.8	52.4	53.1	53.4	51.2	51.2	52.8	53.3	52.8	52.9	53.6	53.2	53.4
ドイツ	総合産出指数	55.2	52.4	52.1	52.5	52.3	51.6	52.1	52.8	51.4	52.2	52.6	52.6	50.9	51.4
	製造業購買担当者指数	55.5	51.8	47.1	44.6	51.8	51.5	49.7	47.6	44.1	44.4	44.3	45.0	43.2	43.6
	サービス業業況指数	55.0	53.3	54.6	55.6	53.3	51.8	53.0	55.3	55.4	55.7	55.4	55.8	54.5	54.4
フランス	総合産出指数	54.4	52.3	49.1	51.3	54.2	48.7	48.2	50.4	48.9	50.1	51.2	52.7	51.9	52.7
	製造業購買担当者指数	53.1	50.6	50.8	50.8	50.8	49.7	51.2	51.5	49.7	50.0	50.6	51.9	49.7	51.0
	サービス業業況指数	55.0	53.2	49.0	51.7	55.1	49.0	47.8	50.2	49.1	50.5	51.5	52.9	52.6	53.3

出所：IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。